

お子さまがおくすりを使えるようになるために



お子さまに薬をのませたり、使ったりするとき、うまくできなかった経験はありませんか？ 使うことができれば、せっかくの薬も効果を発揮することができません。

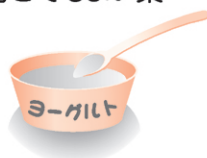
医師や薬剤師と相談しながら、適切に使うことができるようにしましょう。

● なぜ、くすりがキライなの？

薬が適切に使えない理由はいろいろとあります。薬そのものが嫌い、味やにおいが嫌い、錠剤がのめないなどさまざまです。薬によって対応が変わりますので、お子さまにもっとも適した使い方を一緒に考えていきましょう。



アイスクリームや
ヨーグルトに
混ぜてもよい薬



ジュースで
溶かしてもよい薬



割ってもよい薬

くすりを使って早く元気になろう！

お子さまが少し大きくなってきたら、薬を使う理由をお話してみてください。薬を使うことで病気が治ること、症状がなくなることを、また、早く元気になるために薬が必要なことなどをわかりやすくお話してください。薬の必要性を理解することで、適切に薬が使用できることもあります。



「コンコン、苦しい咳を止めるお薬よ、
がんばってのもうね」



もう水でのめるよ！！

いつでも適切にくすりを使えるようになるろう！



薬を使うことに徐々に慣れていったら、少しずつ大人と同じような使い方ができるようにしていきましょう。災害のときなど、緊急時にはアイスクリームやジュースなどが手元にないことがあります。いつでも適切に薬を使えることも大切です。

最初からおくすりを上手に使うことはなかなかできません。
医師や薬剤師と相談しながら少しずつ使えるようにしていきましょう。